

## 横浜国立大学創立 60 周年記念事業のご紹介

今年、本学が昭和 24 年に新制大学として発足して以来、創立 60 年という記念すべき年を迎えました。本学の歴史の節目にあたるこの意義ある年に際し、横浜国立大学創立 60 周年記念事業をスタートしました。

様々な記念事業を順次、実施しておりますが、現在予定している事業内容の一部をご紹介します。

### ◆創立 60 周年記念式典

本学関係機関の方々を来賓としてお招きし、約 100 名が出席予定。

日時：平成 21 年 11 月 8 日（日）10:30～

場所：横浜ロイヤルパークホテル（MM21 地区）

記念式典に引き続き、法人化前後の国立大学としての変革期に本学学長を務められた、飯田嘉宏前学長による記念講演「横浜国立大学の歩みと展望—法人化前後の 10 年から—」が予定されております。また、式典終了後にはレセプションを開催し、関係各位の御理解と御協力に深く感謝し、創立 60 周年を祝います。

### ◆通史の作成

創立 60 周年記念事業の一環として、通史を発行します。人（教員、卒業生等）に視点を置き、本学 60 年の歴史を、写真、データや資料とともに振り返

ります。

### ◆キャンパス整備

在学生・卒業生・教員を対象に行ったコンセプト・デザインコンペで最優秀賞に選ばれた提案を基に、常盤台キャンパスの玄関である国大橋と周辺エリアを魅力的に整備します。その他にもメインストリートの舗装改修、外灯の整備、セキュリティポールの設置、屋外情報基地の設置、構内案内サインの整備などを予定しています。

### ◆国際交流基金の充実

創立 60 周年を期して、横浜国立大学の実践的国際拠点をさらに具現化するため、卒業生の方をはじめとする関係者の皆様に募金を呼びかけ、集められた募金から国際交流基金の充実を図ることとなりました。国際交流基金により、学生の海外派遣支援や留学生支援を継続的に実施していきます。

募金事業の詳細は各同窓会を通じてご案内いたしますので、ご協力のほどよろしく願いいたします。

記念事業に関する情報は、大学ウェブサイト (<http://www.ynu.ac.jp/>) で順次掲載しています。



8 月 29 日（土）に行われた J リーグ「横浜国大創立 60 周年記念スペシャルマッチ」での記念撮影。鈴木邦雄学長からの両チーム主将への花束贈呈の他、フェアプレーフラッグベアラーとして附属小学校の生徒が参加しました。本学と横浜 F. マリノスは、平成 19 年に包括提携締結以降、相互連携を深めています。

## 国際みなとまち大学リーグ国際セミナーを開催 ～港は世界の文化文明のゲートウェイ～

5月21日(木)～22日(金)に、「港は世界の文化文明のゲートウェイ」をテーマに国際みなとまち大学リーグ (Port-city University League, 略称 PUL) 国際セミナー (一般公開) を、横浜市開港記念会館で開催しました。

PUL は、本学の提唱により、港湾都市にある世界有数の大学が学術・文化・産業等幅広い視野に立ち市民も含めた交流を目指すものとして、平成18年にスタートし、毎年、世界各地で開催しています。

1日目の「港と海に関する諸問題」のセッションでは、本学教員による講演、「港町と海洋教育」の

セッションでは、各大学の教育研究に関する取り組みが紹介され、熱を帯びた質疑応答が繰り広げられました。2日目は、日本語と英語による同時通訳付きでセミナーを実施しました。本学鈴木学長、横浜市立大学長の挨拶、横浜市長の歓迎メッセージに続き、横浜開港資料館主任調査研究員平野氏による「港町の歴史と文化」と題した特別講演等が行われました。

会場は100名を越える聴衆で活気にあふれ、大学教員の他、一般参加者からも質問が相次いでいました。



11カ国12大学からの参加者と鈴木学長(中央)

## 快挙！ 本学の教員5名が文部科学大臣表彰で受賞

本学の5名の教員が、平成21年度科学技術分野の文部科学大臣表彰で、以下の各賞を受賞し、4月

14日(火)に表彰を受けました。

### 【科学技術賞(研究部門)】

業績名: 自己き裂治癒を用いたセラミックスの性能と信頼性向上の研究

名誉教授 安藤 柱

工学研究院 准教授 高橋 宏治

学際プロジェクト研究センター 特任教員(助教) 中尾 航 他 1名

業績名: ネットワークインシデント分析センター nictcr の研究

学際プロジェクト研究センター 特任教員(助教) 吉岡 克成 他 4名

### 【若手科学者賞】

業績名: 材料工学分野における高信頼性セラミックスの研究

環境情報研究院 准教授 多々見 純一